

平成29年度 企画管理局 地域支援部 研修会システム

※日程は平成29年6月15日現在の日程です(適宜県士会ホームページおよび自動配信メールでご確認ください)。

【本研修会システムと人材派遣の関係について】

※受講順序に規定はないが、基礎レベル・応用レベル・指導者を人材派遣の一つの指標として設ける。

※具体的には、各市区町村における地域包括ケアシステム関連事業への派遣依頼があった場合は、対象ブロックの指導者・応用研修修了者・基礎研修修了者の順に推薦・打診などを行う。

※特例として、下記研修会を修了していない者であっても、県士会が指導者と同等以上の能力を有する人材と認められたときは派遣を行うこともある。

研修会名	責任チーム	所要時間	回数	開催場所	宮城県士会認定 地域包括ケア推進作業療法士			平成29年度 研修会開催スケジュール (予定)													
					基礎研修 修了者	応用研修 修了者	指導者	上半期					下半期								
								4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
① 地域包括ケア・地域ケア会議 概論	A	【1.5時間】	3回	仙台圏・県北・県南	広報・啓発活動の一環としての研修 (圏域内市町村の地域ケア会議担当者にも声掛け)						県北:7/6(木) 中央:7/12(水) 県南:7/5(水)										
② 地域包括ケア・地域ケア会議 人材育成(基礎)	A	【1日】	3回	仙台圏・県北・県南	○	○	○				7/30(日) 県北	8/19(土) 県南	9/30(土) 仙台								
③ 地域包括ケア・地域ケア会議 人材育成(応用)	A	【1日】	3回	仙台圏・県北・県南		○	○							(予定) 10/17(土) 県北	(予定) 11/23(木・祝) 県南	(予定) 12/3(日) 仙台					
④ 介護予防・日常生活支援総合事業 人材育成	B	【1日】	2回	仙台×2		○	○					(予定) 8/26(土) 仙台								(予定) 仙台	
⑤ 認知症の人の生活支援 人材育成	C	【1日】	2回	仙台×2	○	○	○		5/20(土) 仙台										(予定) 仙台		
⑥ MTDLP基礎研修	D	【1日】	教育部	未定	○	○	○			6/3(土) 仙台			(予定) 9/9(土) 仙台						(予定) 2/17(土) 会場未定		
⑦ MTDLP実践者研修 (事例検討会での事例発表or協会事例登録)	D	事例検討会 【1.5時間】	未定	事例検会は 各ブロック単位			○	事例検討会は各ブロックで適宜開催													
推奨 地域ケア会議見学	—	—	—	各市町村の開催状況 をリサーチ	【推奨】 各市町村の地域ケア会議の見学可否を確認 一可の市町村の開催情報を発信し参加を募集			随 時													
推奨 MTDLP指導者 (協会事例登録→合格)	—	—	—	—	【推奨】 地域ケア会議・総合事業・アウトリーチ型の認知症支援(認知症初期集中支援チームなど)への参画、後進育成、他職種や自治体への指導の際に有用			随 時													
講師	※上記研修会の講師:当面は地域支援部員が担当(各研修会の責任チーム) ※もしくは、地域包括ケア推進作業療法士指導者となった県士会員が担当				—	—	—	—	※各責任チームにおいて講師を選定(まずはチーム内もしくは指導者から選定) ※安易に講師を固定せず、新しい講師育成、知識や経験をアウトプットする経験を積むことを目的に、チーム員に積極的にチャレンジを機会を設けること(各リーダー陣がスーパーバイザーとしてバックアップ)												

※上記日程は平成29年6月15日現在の日程です(適宜県士会ホームページおよび自動配信メールでご確認ください)

研修会システムの目的 : 平成29年度 県士会活動方針 第1項ならびに第2項を推進・達成するため	
第1項	MTDLP基礎研修修了者を県士会員の60%へ引き上げる(昨年度からの継続目標)。さらに、実践者研修修了者を引き上げるために、各ブロックで実践者研修を開催する。また、MTDLP指導者育成に取り組んでいく。
第2項	士会組織内に地域支援部を新設し(理事会承認)、地域包括ケアシステムに寄与する作業療法士の育成に向けて研修会システムを構築し開催する。また、県・市町村との情報交換、連携を図る(昨年度からの継続目標)。
目的の下位項目	1 地域包括ケアシステムは、「地域ケア会議」「介護予防・日常生活支援総合事業」「認知症の人の生活支援」などを包含する概念であり、この地域包括ケアシステムに貢献するツールとしてMTDLPが開発された。よって、これらをすべて関連づけた研修会システムを構築し人材育成を図る必要があるため。
	2 各々の研修会が独立しているのではなく、関連性があることを理解していただくために、研修会システムとして「体系化」「見える化」し、地域包括ケアシステムに貢献するために必要な見識、スキルの幅や奥行きについて把握していただく必要があるため。
	3 「作業療法による自立支援」ができる作業療法士育成のアウトカム指標とするため。また、今後予想される宮城県やリハ専門職協会等の人材バンク登録の基準とするため。
	4 人材育成・後進育成に携わっていく者のステップアップ指標としても活用できるため。 (経験年数が中堅域のOT・部署のポスト職・ブロック長・理事など、経験年数や役職の方々における地域包括ケアシステムについての必要な見識としての指標)

備 考
<p>※研修会①②③⑦に関しては各圏域や各ブロックで開催しますが、どこの研修会に参加しても構いません。</p> <p>※ここに示した日程が変更になる場合もございます。研修会の開催および申込の受付は、各研修会ごとに、適宜県士会ホームページにアップしますので、ご確認ください。</p> <p>※研修会における講義内容は適宜マイナーチェンジする場合があります。その理由は以下の通りです。</p> <p>◆制度・施策の最新の動向を取り入れた内容にするため。</p> <p>◆各市町村における「地域ケア会議」「介護予防・日常生活支援総合事業」「認知症の人の生活支援」等に関する取り組み状況について最新の動向を取り入れた内容にするため。</p> <p>◆事例の変更・追加のため。</p> <p>※H28/11/19-20に開催した「地域包括ケア・地域ケア会議に資する人材育成研修」の受講者は、②③は受講済みとなります。</p> <p>※既述のとおり、各研修会の度に最新の情報を取り入れた内容にするため、同じ研修会に複数回参加しても構いません。</p>

この研修会体系についての問い合わせ : 宮城県士会 企画管理局 地域支援部 部長 三浦晃 (E-mail: mouse@tfu-mail.tfu.ac.jp)